

「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の 取り組み状況について



平成 28 年 12 月

神戸市



目次

ライフステージに着目した施策の展開	1
1. すべてのライフステージにおける取り組み	1
2. 妊娠期	5
3. 乳幼児期（0～5歳）	6
4. 青少年期（6～17歳）	9
5. 若者・壮年期（18～64歳）	11
6. 高齢期（65歳以上）	13
分野別にみた施策の展開	15
1. 障害者への歯科保健医療対策	15
2. 介護が必要な高齢者への対策	16
3. 救急医療対策（歯科）	17
4. 周術期（手術前後）などの取り組み	18
5. 災害時における歯科保健医療対策	19
計画の指標	20
市内での取り組み	21

平成28年度の取り組みについては、平成28年11月末現在での状況です。

ライフステージに着目した施策の展開

1. すべてのライフステージにおける取り組み

(1) 推進方策・事業展開

食事や会話を楽しむなど、豊かで健やかな社会生活を送るためには、かむ・飲みこむ・話すなどの口の機能が大きな役割を担っています。口の機能を維持するには、むし歯や歯周病を予防して8020（はちまるにいまる：80歳で20本以上自分の歯を残すこと）を達成するための歯と口の健康づくりが重要です。

「こうべ歯と口の健康づくりプラン（平成26年3月策定）」の基本理念である「生涯、自分の歯でおいしく食べる」および「口の健康から全身の健康づくり」にもとづき、歯科口腔保健を推進していきます。すべてのライフステージに共通した取り組みとして、「かかりつけ歯科医を持つ」、「歯みがきなどで歯垢をとる」、「フッ化物を利用する」、「嘸ミング30（カミングサンマル）」、「たばこを吸わない」の5項目を掲げており、これらを広く情報発信していきます。

(2) 平成27年度の実績

① 「歯と口の健康週間」関連の歯科口腔保健啓発事業

◆神戸まつり、食育フェア、中央図書館などでの啓発

神戸まつり（5月17日）、食育フェア（6月13日）などにおいて、江崎グリコ株式会社と連携して、「嘸ミング30」の啓発を行いました。また、中央図書館にて「お口の中は元気ですか？歯の健康で“歯ッピー！”展」として、口の健康に関する図書などの展示を行いました（5月28日～6月10日）。

② 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」推進キャンペーンの実施 **新規**

いい歯の日（11月8日）にちなんで、平成27年11月に「こうべ歯と口の健康づくりプラン」推進キャンペーンを実施しました。生涯、自分の歯でおいしく食べるために、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に受診することを啓発しました。

◆ポータライナー「こうべ歯と口の健康づくり」啓発車両の走行

11月の1か月間、ポータライナーに「こうべ歯と口の健康づくり」啓発車両（イー歯ライナー）を走行させました。オープニングイベントでは、神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科の学生が啓発車両（イー歯ライナー）に乗り込んで啓発しました。

◆「かかりつけ歯科医を持とう」動画の放映

11月に市営地下鉄西神山手線の4駅（名谷、学園都市、西神南、西神中央）にて放映しました。また、11月より、ミント神戸大型ビジョン、神戸空港、さんちか、三宮センター街などにて放映しました。



ポータライナー啓発車両

◆啓発ステッカー 【サンスター提供】

市内の歯科医院、公共施設の鏡などに透明ステッカーを貼付して啓発しました。

◆「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア

神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科により、神戸市危機管理センターにて「災害時の命を守る口腔ケア」について啓発しました (p.19 参照)。

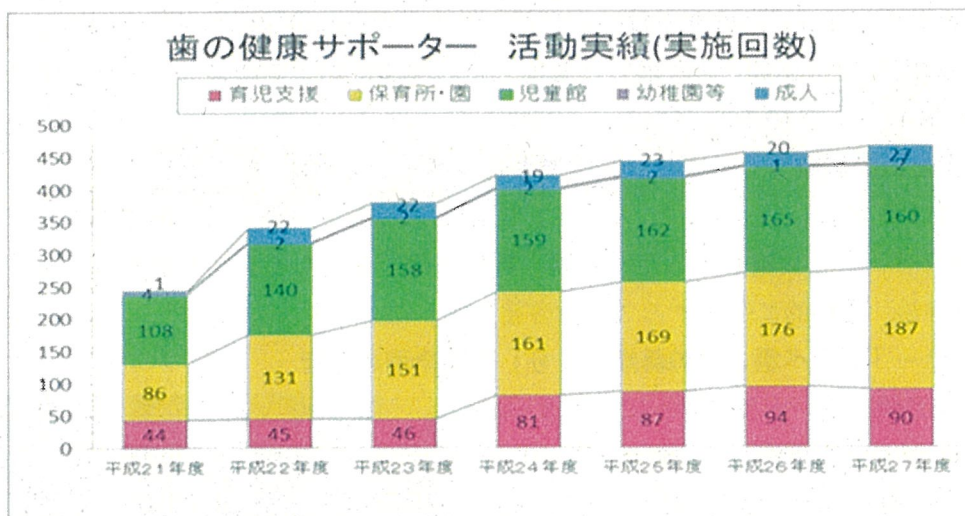
◆いきいきシニアライフフェア 2015、各区での啓発イベントなど (p.21～33 市内での取り組み参照)



③ 人材育成

「かかりつけ歯科医を持とう」動画

平成21年度より在野の歯科衛生士を育成し、歯の健康サポーターとして、地域の施設・団体に派遣を行い、ライフステージに応じた歯科健康教育を実施しています。市民がむし歯や歯周病などの歯科疾患の予防に取り組むことを支援し、市民の歯科保健意識の向上に努めています。(歯の健康サポーター登録者数 37人)



④ 出前トーク

平成26年度より「こうべ歯と口の健康づくりプランの推進」出前トークを地域福祉センターなどにおいて実施しています。

(3) 平成28年度の取り組み

平成28年11月8日(いい歯の日)に、神戸市歯科口腔保健推進条例が施行されました。それにあわせて、花時計などの啓発を行いました。

① 「こうべ歯と口の健康づくり」花時計

9月30日～11月9日、こうべ花時計のデザインとして、神戸市歯科医師会キャラクター「ハーバーくん」を採用し、歯と口の健康づくりについて啓発を行いました。オープニングでは、長田区近田幼稚園児による「むし歯に負けない歯をつくろう(フッ化物洗口の歌)」の歌唱および鼓笛隊演奏により、歯と口の健康づくりの重要性についてPRしました。

新規



「こうべ歯と口の健康づくり」花時計

② 広報紙KOBEでの歯科保健啓発記事

広報紙KOBE「くらしにプラス」の「健口」欄にて、「体の健康は歯と口から」と題して、歯と口の健康づくりについて啓発しています(奇数月に年6回)。



花時計オープニング

③ こうべ歯と口の健康づくりプランなどの啓発

◆中央図書館での展示

中央図書館において、「ハッピー? 歯ッピー!!」展(6月10日～23日)および「歯ッピー!! 健康な歯でおいしく食事」展(9月21日～10月4日)を開催し、図書の展示や、ポスターの掲示により、歯科口腔保健の啓発を行いました。

◆みなとギャラリーでの展示

みなとギャラリー(みなと銀行本店)および花時計ギャラリー(さんちか)にて「こうべ歯と口の健康づくりプラン」および「神戸市歯科口腔保健推進条例」に関する啓発を行いました。

また、市内のコンビニエンスストアなどに啓発ちらしを設置して広報啓発を行いました。

④ 出前トークでの健康教育

出前トーク「こうべ歯と口の健康づくりプランの推進」を登録し、地域からの



広報紙KOBE 歯科保健啓発記事



中央図書館での展示

依頼に応じて、ライフステージに応じた取り組みについて啓発を行いました。

⑤ 人材育成

在野の歯科衛生士を育成し、歯の健康サポーターとして、地域の施設・団体に派遣を行い、ライフステージに応じた歯科健康教育を実施しています。市民がむし歯や歯周病などの歯科疾患の予防に取り組むことを支援し、市民の歯科保健意識の向上に努めています。



さんちか花時計ギャラリーでの啓発（7月）



みなとギャラリーでの啓発

2. 妊娠期

目標：生まれてくる赤ちゃんのため、両親が自分の歯と口の健康を守る

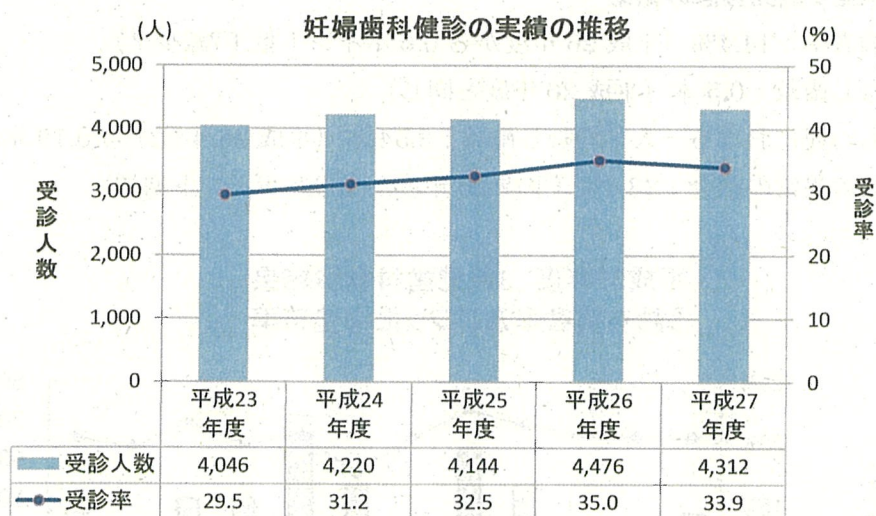
(1) 推進方策・事業展開

妊娠中は、つわりなどで、むし歯や妊娠性歯肉炎になりやすく、重度の歯周病は早産につながる可能性があるため、妊婦歯科健康診査の受診勧奨について強化します。出産後のむし歯菌の母子感染予防についても啓発していきます。

(2) 平成 27 年度の実績

① 妊婦歯科健康診査

平成 26 年度の妊婦歯科健診受診者は、4,312/12,724 人（受診率 33.9%）と前年度より 1.1 ポイント減少しました。



保健所事業概要

② こうべ子育て応援メールの配信 **新規**

平成 27 年 10 月より妊婦や子育て世代を対象に、妊娠中の健康管理やこどもの成長過程、定期健診情報、妊娠・子育て生活のアドバイス等の情報をタイムリーに配信する「こうべ子育て応援メール」を開始し、その中で、妊婦歯科健康診査の啓発を行っています。

(3) 平成 28 年度の取り組み

- ◆ 妊娠期からの歯と口の健康づくりに関する情報提供を行います。
- ◆ 母子健康手帳交付時に妊婦歯科健診の受診勧奨を引き続き実施します。
- ◆ 妊婦や子育て世代を対象に、妊娠中の健康管理やこどもの成長過程、定期健診情報、妊娠・子育て生活のアドバイス等の情報をタイムリーに配信する「こうべ子育て応援メール」による情報提供を行います。

3. 乳幼児期（0～5歳）

目標：こどもの歯を守り、かむ・話すなど口の機能を育てる

1) 家庭、地域における取り組み

(1) 推進方策・事業展開

食べる機能を獲得する、および味覚を形成する重要な時期。

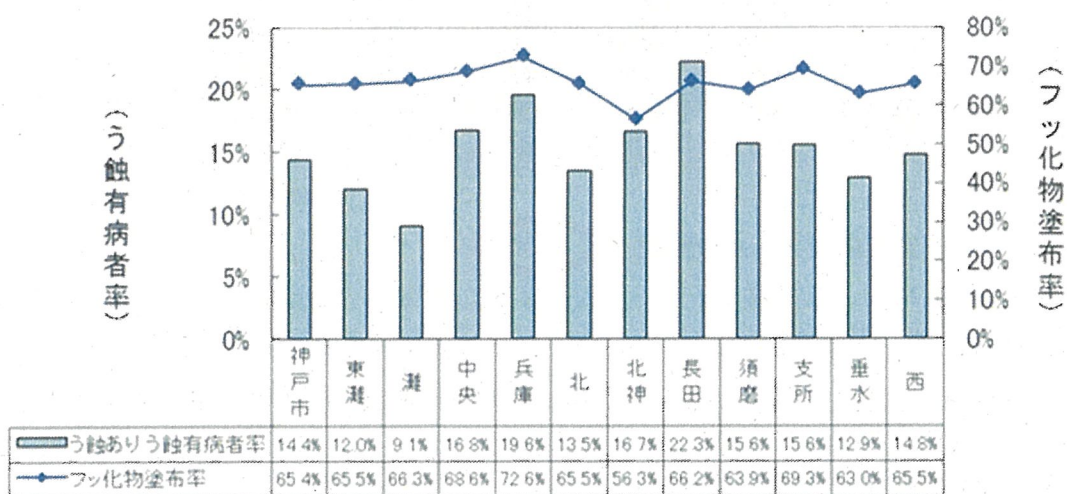
むし歯を持つ児の割合は減少傾向ですが、地域差・個人差があるため、歯科健康診査、健康教育などを通して、保護者へむし歯予防の啓発を行い、健全な口腔機能の保持増進に努めます。

(2) 平成27年度の実績

① 平成27年度3歳児健診の結果

- ◆むし歯有病者率：14.4%（平成26年度から0.6ポイント低下?減少?）
- ◆一人平均むし歯数：0.5本（平成26年度と同じ）
- ◆むし歯をもつ児における一人平均むし歯数：3.54本（平成26年度から0.19本増加）
- ◆咬みあわせの異常の割合：23.4%（平成26年度から0.3ポイント増加）

平成27年度 3歳児歯科健診結果
う蝕有病者率及びフッ化物塗布率



保健事業概要

② フッ化物塗布（1歳6か月児および3歳児歯科健診にて）

むし歯を予防するには、フッ化物を利用して歯質を強化することが効果的であるため、1歳6か月児・3歳児健康診査時に、希望者には有料でフッ化物塗布を実施しています。

1歳6か月児：9,651人／11,793人（81.5%）、3歳児：8,079人／12,361人（65.4%）

③ 地域における歯科健康教育

児童館や子育て支援サークルの参加者などを対象に、「歯の健康サポーター（歯科衛生士）」による健康教育を実施しています。むし歯予防のため、保護者に対して、仕上げみがき、食生活指導、フッ化物の応用などについて広く啓発しました。

児童館すこやかクラブ：160 ヲ所 4,416 人、子育て支援サークル：90 ヲ所 2,612 人

(3) 平成 28 年度の取り組み

① 2 歳児むし歯予防教室

個別指導で保護者の要望にきめ細かく対応し、幼児期のむし歯予防につなげています。

平成 28 年度においても引き続き参加者に満足してもらえるよう努めるとともに、3 歳児健診のむし歯有病者率の低下をめざします。

2) 保育所（園）、幼稚園における取り組み

(1) 推進方策・事業展開

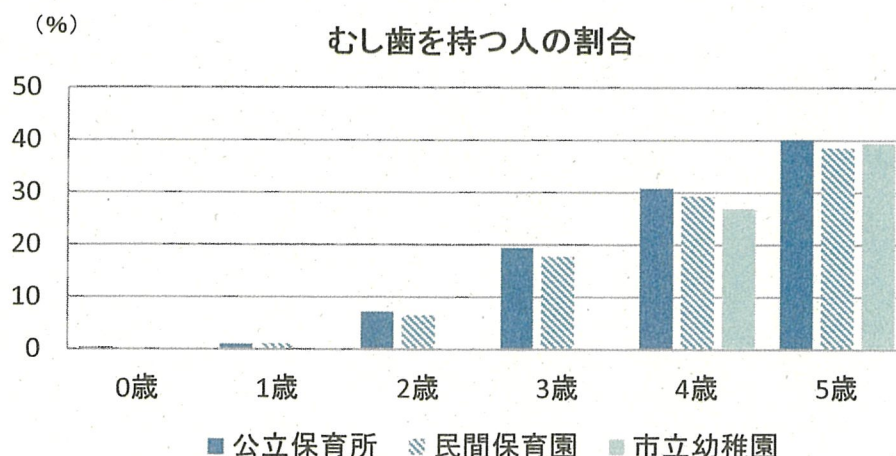
保育所（園）、幼稚園では、歯科健康診査、健康教育およびフッ化物洗口などを通して、歯や口の健康づくりを推進しています。

(2) 平成 27 年度の実績

① 歯科健康診査

保育所（園）、幼稚園では、歯科健康診査を実施するとともに、必要な場合は、受診勧奨を行っています。

受診者数：公立保育所 5,229 人、民間保育園 15,121 人、市立幼稚園 2,426 人



平成27年度歯科健診結果（神戸市こども家庭局、神戸市教育委員会）

② フッ化物洗口の実施

むし歯予防を目的として、保育所（園）、幼稚園に通う4歳、5歳児クラスの希望者を対象に、フッ化物洗口を実施しています。

フッ化物洗口の実施状況（平成27年度）

	対象施設数	実施施設数	実施施設割合	(A)対象施設の4歳・5歳児入所児童数（人）	(B)フッ化物洗口希望者数（人）	B / A
公立保育所	58	58	100.0%	2,500	2,441	97.6%
民間保育園	124	115	92.7%	5,065	4,889	96.5%
幼保連携型認定こども園	49	44	89.8%	2,826	2,299	81.4%
私立幼稚園	68	15	22.1%	8,752	1,438	16.4%
幼稚園型認定こども園	15	5	33.3%	2,380	868	36.5%
市立幼稚園	40	40	100.0%	2,580	2,495	96.7%
合計	354	277	78.2%	24,103	14,430	59.9%

*注 対象施設数：4歳、5歳児が在籍している施設数のみ

(3) 平成28年度の取り組み

フッ化物洗口について、正しく理解を深めて、安全に実施するために、園長や職員などを対象として、研修会を実施しました。今後も、保護者などを対象に、歯科口腔保健に関する啓発を行っていきます。

4. 青少年期 (6～17歳)

目標：むし歯を予防し、歯と口の健康づくりの基礎をつくる

(1) 推進方策・事業展開

生涯を通じた歯と口の健康づくりの基盤を形成するために、大変重要な時期です。顎の成長が著しく、14歳頃に永久歯の歯並びが完成していきます。

むし歯を持つ児童生徒の割合は減少しましたが、中学生・高校生では、歯肉の異常の割合が増加しています。学校歯科保健教育の充実を図り、学校保健委員会*などを活用して、健康な児童生徒を育成していきます。

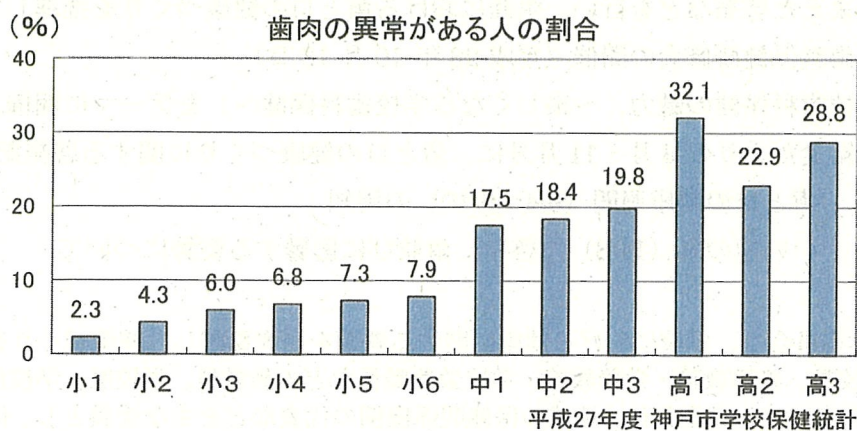
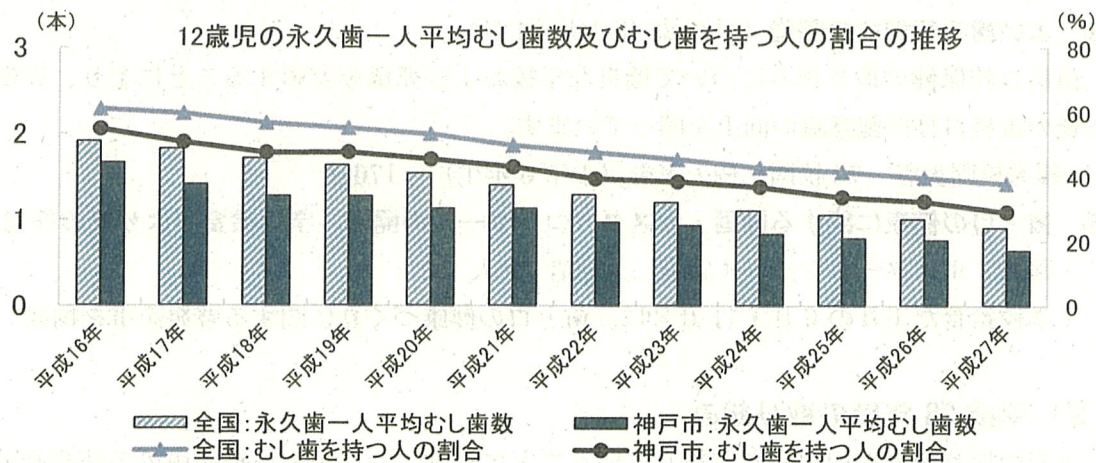
(2) 平成27年度の実績

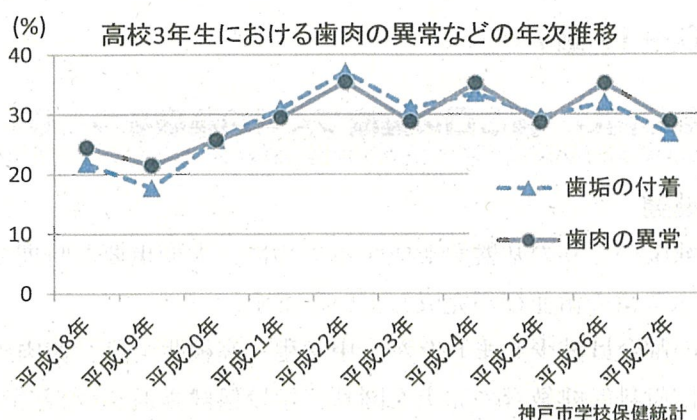
① 定期健康診断における歯科健診の実施

健診結果にもとづき、適切な予防処置、治療勧告や個別指導などの事後措置を行い、児童・生徒の健康の保持増進を図っています。

受診者数：小学校 75,535人、中学校 34,885人、高等学校 7,321人、特別支援学校 893人

12歳児一人平均むし歯数：0.64本





② 学校保健委員会の中で学校歯科保健をテーマに実施

学校保健委員会において歯と口の健康づくりをテーマにするなど、学校・家庭・地域が連携して学校歯科保健に取り組むように働きかけています。

実施数：小学校 24 校（164 校中）、中学校 8 校（84 校中）

③ 学校歯科保健研修会の開催（平成 27 年 10 月 29 日）

学校における歯・口の保健指導を通じて、児童が歯と口の健康づくりを実践できるようになるための具体的な指導方法について、教職員が研究を行っています。

「特別な配慮が必要な子どもへの対応と歯科治療」をテーマに開催。68 人参加。

④ よい歯の表彰式の開催（平成 28 年 1 月 21 日）

歯科口腔保健の取り組みについて優良な学校および児童を表彰することにより、児童・生徒の歯科口腔保健意識の向上を図っています。

優秀校園表彰 73 校園、個人表彰（小学 6 年生） 176 人

⑤ 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールの開催、学校給食だよりでの啓発

・図画・ポスターコンクール実施、入選者 49 人

・学校給食だよりの 6 月・11 月号に、歯と口の健康づくりに関する啓発記事を掲載

（3）平成 28 年度の取り組み

上記の取り組みを引き続き実施していくことにより、むし歯や歯周疾患の予防や食育の視点も踏まえた啓発などを行い、生涯における歯と口の健康づくりを推進していきます。

・学校歯科保健研修会の開催（平成 28 年 10 月 13 日）

「学校歯科保健の魅力 ～楽しくなる学校歯科保健～」をテーマに開催。79 人参加。

・学校給食だよりの 6 月・11 月号に、歯と口の健康づくりに関する啓発記事を掲載

6 月 歯と口の健康週間（6/4～6/10）の周知

11 月 いい歯の日（11/8）の啓発、歯並びに影響する姿勢について

*学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織。校長、養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし、保健主事が中心となって、運営することとされている。

5. 若者・壮年期 (18~64歳)

目標：歯周病を予防し、よくかんで健康増進

(1) 推進方策・事業展開

仕事で多忙であるという理由から、生活習慣の乱れが生じ、歯と口の健康づくりが不十分になりやすい時期。

40歳歯周疾患検診結果によると、約9割の人が歯周病の治療が必要な状態です。

歯周病は、歯を失うだけでなく、全身の健康にも影響することから、早期発見および定期的な管理が重要です。歯周疾患検診の受診率向上に努めるとともに、職域保健と連携し、歯周病に関する正しい情報提供を行います。

(2) 平成27年度の実績

① 歯周疾患検診の実績

- ・平成27年度 40歳歯周疾患検診の受診者数：1,632人/22,781人 (受診率：7.2%)
- ・平成27年度 50歳歯周疾患検診の受診者数：728人/20,621人 (受診率：3.5%)
- ・平成27年度 直営歯周疾患検診の受診者数：504人 (35歳と41歳以上の市民対象)

② 歯周疾患検診の受診勧奨

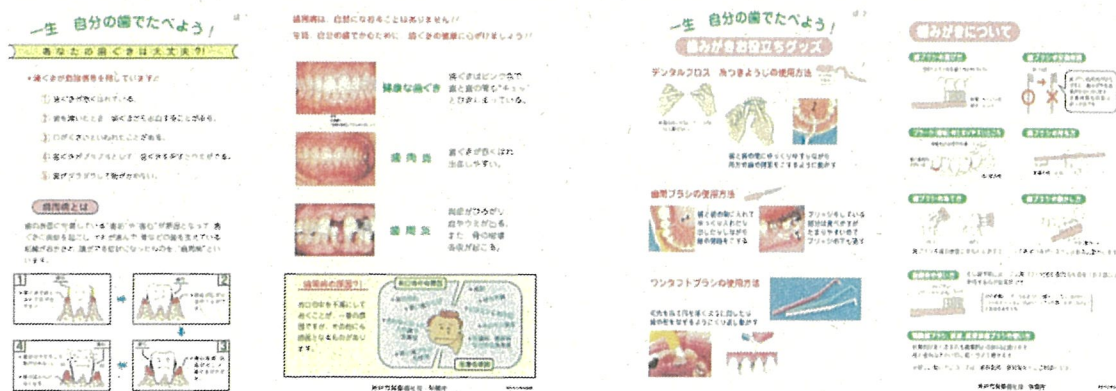
◆「神戸けんしんガイド」での啓発

親しみやすいイラストを用いて検診制度を紹介する「神戸けんしんガイド」を作成して、歯周疾患検診についても掲載しました(広報紙KOBÉ4月号)。また、ちらし版をハローワーク、ファミリーマート、ローソンなどに設置して広報に努めました。

(3) 平成28年度の取り組み

① 職域との連携

神戸市地域・職域保健に関する実務者会において、40歳・50歳歯周疾患検診などの情報提供や、歯周病予防リーフレットの紹介を行いました。



6. 高齢期（65歳以上）

目標：歯の喪失を防止し、口の中を清潔にして、口から食べて活力維持

(1) 推進方策・事業展開

だ液の減少、歯の喪失などにより、誤嚥・窒息を起こしやすくなる時期。

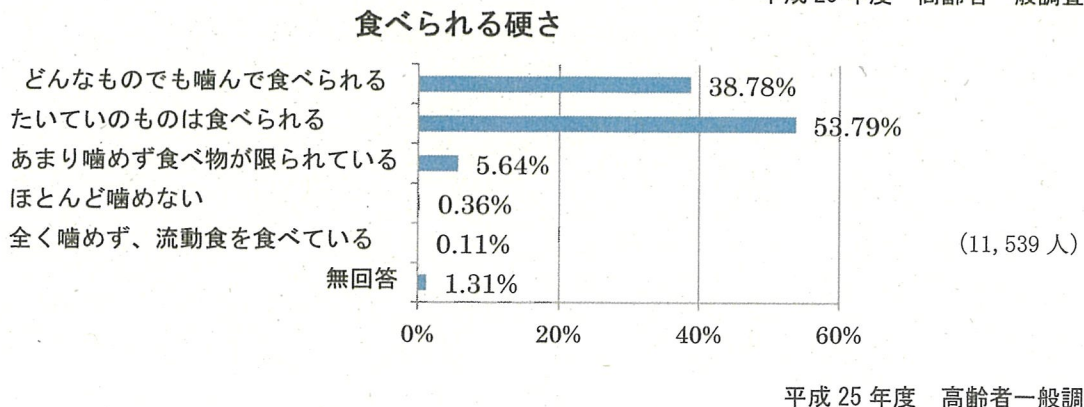
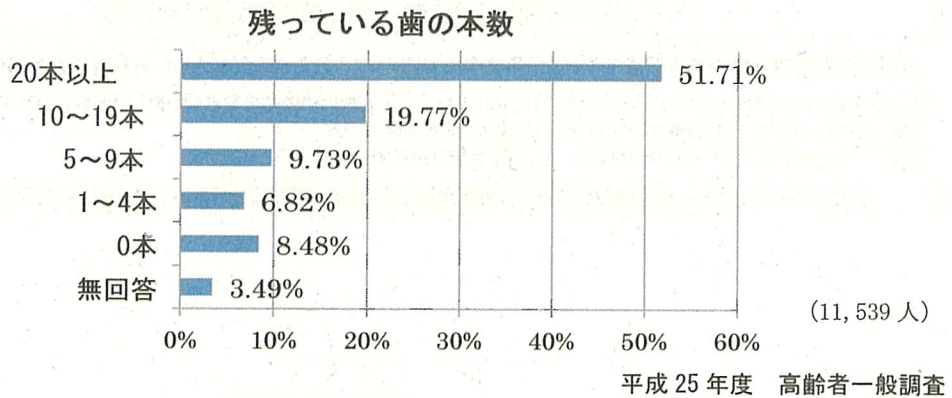
口腔機能を維持・向上し、いつまでも口から食べて活力ある生活を送ることができるように、介護予防の「口腔機能の向上」プログラムの普及や、誤嚥性肺炎の予防の啓発に取り組めます。

(2) 平成27年度の実績

① 口腔機能の向上プログラムなど

介護予防型デイサービスの「口腔機能の向上プログラム」では、2か月に1回、歯科衛生士が対象者に、口の体操プログラムなどを実施しています。参加者は、丁寧な歯みがきを心がけるなど口の健康を意識するようになり、だ液ゴックンテスト・パタカ回数測定でも口腔機能の向上がみられました。

「脳いきいき教室（認知症予防教室）」では全6回のうち4回目に歯科衛生士が出向き、健口体操や唾液腺マッサージを実践しました。参加者からは、これからも継続していきたいという前向きな声を聞いています。また、「元気！いきいき！！教室」では全12回のうち、3回目と9回目に歯科衛生士が出向き、口腔機能の向上の講話を実施しました。



② 後期高齢者（75歳）歯科健康診査の実施 **新規**

歯や歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックし、歯と口の健康を保つことにより全身の健康づくりを目指して、後期高齢者医療制度被保険者の内、75歳の方を対象に口腔機能低下の予防と肺炎等の疾病予防を目的とした健診を実施しました。

（平成27年度の受診期間は平成27年9月1日～平成28年2月29日）

平成27年度の受診者数 1,178人/14,732人（8.0%）

（3）平成28年度の取り組み

① 口腔機能の向上プログラムなど

28年度も引き続き、介護予防型デイサービスとして「口腔機能の向上プログラム」を実施しています（29年度の総合事業移行に向けて再構築しているため、対象者の受け入れは10月までとしています。実績：28年10月時点77箇所実施）。また、「脳いきいき教室」においても口腔機能の向上の重要性に関する啓発を行い、対象者の口腔機能の向上を図っているほか、「元気！いきいき！！教室」においても口腔機能の向上の講話を実施しています。

高齢化がいつそうすすむなか、高齢者の方々が元気な生活を長く送っていただくためにも、口腔機能の向上をきっかけに日常生活の活動を高め、社会参加をしていただくことで、高齢者一人ひとりが、生きがいや役割をもって生活していけるような場や機会を提供していきます。

② 後期高齢者（75歳）歯科健康診査の啓発

しあわせの村だより9月10月号に受診勧奨記事を掲載しました。

神戸市後期高齢者（75歳）歯科健康診査

後期高齢者医療制度の被保険者で平成27年度中に75歳になられた方を対象とした歯科健診が始まります。

受診期間 平成28年9月1日（木）～平成29年2月28日（火） **受診場所** 神戸市後期高齢者（75歳）歯科健康診査の実施医療機関

対象 昭和15年4月1日から昭和16年3月31日生まれの被保険者の方

料金 無料（対象者にはクーポン券を郵送） **受診方法** 実施医療機関へ事前予約

問合せ先：神戸市けんしん案内センター（兵庫県予防医学協会内）（☎078-262-1163）（FAX078-262-1165）

分野別にみた施策の展開

1. 障害者への歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

障害の種類や程度によっては、自分で口腔ケアを行うことが困難な場合や、口の機能に支障がある場合があり、障害者の特性を理解した歯科専門職が対応する必要があります。

「神戸市立こうべ市歯科センター」では、地域の歯科診療所での治療が困難な人を対象に、日帰り全身麻酔や静脈内鎮静法などの専門的な医療に対応しています。

(2) 平成 27 年度の実績

障害者、高齢者など一般歯科診療所において、診療が困難な人への歯科治療などを行うため、地域の歯科診療所や神戸市立医療センター西市民病院と連携し、安心・安全に配慮しながら、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに、障害者施設への訪問歯科保健指導や訪問歯科健康診査、障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催しました。

平成 27 年度 こうべ市歯科センター受診者数

	心身 障害者	有病者*	非協力 小児	歯科治療 恐怖症	重度嘔吐 反射	その他	合計
受診者(人)	4,664	298	185	115	105	184	5,551
構成比(%)	84.0	5.4	3.3	2.1	1.9	3.3	100.0

* 歯科以外の他科の疾患を併せ持つ人

こうべ市歯科センター調べ

- ・ 障害者施設への訪問歯科保健指導の実績 7 施設 14 回 165 人参加
- ・ 障害者施設への訪問歯科健康診査の実績 8 施設 8 回 206 人参加
- ・ 障害者歯科医療研修会の実績(年 1 回実施) 93 人参加

(3) 平成 28 年度取り組み

引き続き、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに(10 月末現在、受診者数 3,359 人)、障害者施設への歯科保健指導や歯科健康診査および障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催するなど、今後も継続して、障害者の歯科保健医療対策を充実させていきます。

2. 介護が必要な高齢者への対策

(1) 推進方策・事業展開

誤嚥性肺炎の予防のため、口腔ケアが重要です。しかし、在宅要援護者の約 6 割が口の機能に問題があり、施設での口腔機能管理の取り組みは約 4 割という状況です。

地域包括ケアシステムのなかで、住み慣れた地域で、口の機能を維持し続けられるよう、切れ目のない歯科医療・口腔ケアの支援体制の構築に取り組んでいきます。

(2) 平成 27 年度の実績

① 口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援しました。

② 地域ケア会議及び地域包括ケア推進会議による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議を開催（平成 27 年度：204 回、うち歯科医師会参加：64 回）し、区を主体として実施する地域ケア会議を開催（平成 27 年度：2 区。2 区ともに歯科医師会参加）し、地域において歯科医師を含めた多職種のネットワークを構築しました。また、医療・介護関係者や行政で構成する「地域包括ケア推進会議」を開催しました（平成 27 年度：1 回）。

③ 在宅・施設での口腔ケアに関する介護保険利用実績（平成 27 年度平均）

介護保険制度を利用して、在宅・施設において歯科医師や歯科衛生士による口腔ケア（居宅療養管理指導）を受けている人は 2,151 人（要介護認定者 48,458 人（平成 27 年 9 月末現在）の 4.4%）です。また、市内の歯科診療所で介護保険による訪問歯科診療を実施しているのは 12.5%（117/935（平成 27 年 9 月末現在））です。

④ 高齢者施設での口腔機能管理の取り組みに関する介護保険利用実績（平成 27 年度平均）

歯科医師または歯科衛生士が介護職員に対して、口腔ケアにかかる技術的助言・指導を月 1 回以上行っている高齢者施設は、172 か所のうち 68.0%（117 か所）。また、歯科医師等による個別の口腔機能維持管理指導を受けている人は 5.8%（566 人/9,615 人）です。

(3) 平成 28 年度の取り組み

① 口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援します。

② 地域ケア会議による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議及び医療介護サポートセンター等が実施する多職種連携会議を開催することにより、歯科医師を含めた多職種のネットワークを構築していきます。

③ 歯科診療・口腔ケアの広報啓発

市民、事業者等に対し、歯科診療・口腔ケアの重要性を広報啓発していきます。

3. 救急医療対策（歯科）

（1）推進方策・事業展開

救急医療対策の一環として、神戸市歯科医師会附属歯科診療所において、休日の歯科救急医療を実施しています。休日歯科診療所については、平成26年7月に、より利便性が高く、診療に必要なスペースを十分に確保できるセンタープラザ西館へ移転するとともに、診療機能を拡充しています。

（2）平成27年度の実績

日曜日や祝日に歯や歯ぐきが痛んだり、外傷を受けて歯が折れたり抜けたりした時に、かかりつけの先生に受診できない人への応急処置を行う神戸市歯科医師会附属歯科診療所の運営支援を行いました。

所在地：中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館5階（平成26年7月から）

設置運営：公益社団法人 神戸市歯科医師会

診療時間：休日（日曜、祝日、振替休日、年末年始〔12/29～1/3〕）の10時～15時

受診者数：1,452人（一日平均 20.2人）

平成27年度休日歯科診療所診療実績 症状別（複数該当あり）

症状	かむと痛い	はれた	むし歯	詰め物、冠がはずれた 入れ歯が壊れた	歯周疾患	外傷	歯がしみ ずきずき 痛い	その他	合計
人数(人)	375	355	422	240	245	156	149	81	2,023
構成比(%)	18.5	17.5	20.9	11.9	12.1	7.7	7.4	4.0	100.0

神戸市歯科医師会調べ

（3）平成28年度の取り組み

今後も、歯科医師会や歯科衛生士会などの医療関係者、行政が協力して、休日歯科診療所の運営を維持していきます。（10月末現在、受診者数567人）。

4. 周術期（手術前後）などの取り組み

(1) 推進方策・事業展開

がんなどに係る全身麻酔による手術などを受ける患者に、医科からの依頼に基づいて、歯科医師が歯科衛生士とともに口腔機能を管理する取り組みです。歯科医療および専門的口腔ケアを実施することにより、術後肺炎などの合併症を予防することが可能です。医科と歯科が必要な情報を共有するよう推進していきます。

(2) 平成 27 年度の実績

① 医科歯科連携の推進

西神戸医療センターでは、西区、垂水区、須磨区歯科医師会と定期的な連携会議を開催し、周術期口腔機能管理研修を行うなど地域との連携に向けて取り組みました。

また、歯科医師会では、会員向けの研修会を開催するとともに、協力歯科医院リストとともに「病診連携ガイド・プロトコル」を作成しました。**新規**

◆市内のがん拠点病院（国指定）での周術期口腔機能管理の実績

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
神戸大学附属病院	819件、延べ 2,516件	845件、延べ 2,354件	1,118件、延べ 2,925件
中央市民病院	678件、延べ 1,647件	1,236件、延べ 1,701件	706件、延べ 1,872件
西神戸医療センター			230件、延べ 401件

② 広報啓発

広報紙KOB E 10月号「KOB E がんガイド」において、周術期口腔機能管理の重要性について市民へ啓発しました。また、「神戸市がん対策推進条例」に基づき設置している「神戸市がん対策推進懇話会」においても、関係者への周知を図りました。

(3) 平成 28 年度の取り組み

① 医科歯科連携の推進

「神戸市がん対策推進条例（平成 26 年 4 月）」に基づき設置した「神戸市がん対策推進懇話会」において、周術期の口腔機能管理と医療連携について、関係者との共通認識を図っています。

西神戸医療センターでは、地域の 3 区歯科医師会と定期的に連携会議を行い、引き続き周術期口腔機能管理の推進について情報交換を行っています。10 月には、医科から地域の歯科医療機関へ直接口腔機能管理を依頼できるように、専用の診療情報提供書様式の策定や院内のルール作りを行いました。また、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会を行っています。**新規**

中央区歯科医師会では、歯科のない病院への働きかけを行っています。

② 広報啓発

周術期口腔機能管理の重要性について、出前トークなどを通じて市民へ啓発しました。

5. 災害時における歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

誤嚥性肺炎による震災関連死を防ぐため、平常時より口腔ケアに関する啓発などを行い、関係者との顔の見える関係づくりに努めます。また、災害時においては、神戸市歯科医師会との協定などに基づいて、関係機関とともに被災者の健康維持のため、応急歯科医療および口腔ケアを行います。

(2) 平成 27 年度の実績

① 広報啓発

◆「こうべ歯と口の健康づくりプラン」推進キャンペーンでの啓発 **新規**

神戸市歯科医師会・神戸常盤大学短期大学部・神戸市の三者で「災害時に命を守る口腔ケア」ポスターを作成し、市内の歯科医院等にて掲示しています。

◆「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア

神戸市危機管理センター1階市民防災展示室において、神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科により「災害時の命を守る口腔ケア」について啓発しました（11月1日～30日、2月1日～28日）。

災害時に、
いのちを守る口腔ケア。

ご存知ですか？ 阪神・淡路大震災の後、多くの方が、口の中の細菌が原因で肺炎になり命を落としたことを。

平成7年の阪神・淡路大震災では、震災後2か月以内に死亡した「震災関連死」921人の中で、最大の死因は、肺炎による死者が223人と24%を占めました。この肺炎の多くは口の中の細菌が原因で発生する。誤嚥性肺炎と考えられ、入れ歯の取れ、水不足による口腔乾燥、不安な避難所の生活環境などにより、口腔ケアが講じられなかったことが大きな要因です。

誤嚥性肺炎は、口の中の細菌が食物や唾液とともに誤って肺に入ってしまったために起こる肺炎です。高齢者の肺炎の約半数は誤嚥性肺炎と推定されています。口腔ケアにより口の中の細菌を減らす結果、肺炎発生の危険、肺炎および死亡率が約4割～5割減少する効果が得られました。

口腔ケアを実施して肺炎を予防することにより、高齢者や障害者などの命を守ることにつながります。

災害時、お口の中を衛生的に保つことは、あなたの命をつなぐこと。
ふだんから非常持ち出し袋に歯ブラシなどの口腔ケアグッズを備えておきましょう。

神戸市・神戸市歯科医師会・神戸常盤大学短期大学部
神戸市危機管理センター1階市民防災展示室

「いのちを守る口腔ケア」啓発ポスター

(3) 平成 28 年度の取り組み

① 広報啓発

◆「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア

神戸市危機管理センター1階市民防災展示室において、神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科により「災害時の命を守る口腔ケア」について啓発しました（10月11日～11月30日）。

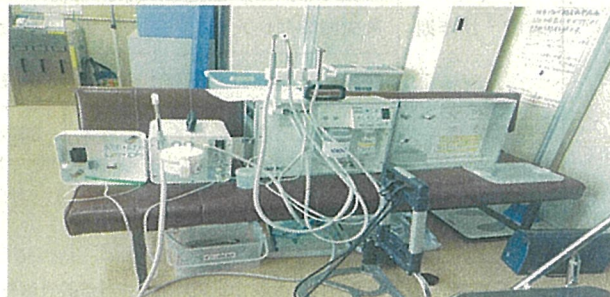
また、さんちか花時計ギャラリーにおいても、備蓄の必要性について啓発しています。

② 防災訓練の実施

平成 28 年 11 月 13 日（日）、全市防災訓練および中央区防災訓練において、中央区歯科医師会が歯科救護所の設置などの実地訓練を行いました。



「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア展示



中央区防災訓練での歯科救護所設置

計画の指標

こうべ歯と口の健康づくりプランの現状および目標

健康こうべ 2017 での指標

		神戸市		神戸市		神戸市 目標値 (H29)
		策定時	データソース	現状値	データソース	
進行した歯周炎を有する人の割合を減らす	40歳	36.9%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	39.6%	H27 40歳歯周疾患検診	33.0%
	妊婦	38.1%	H24 妊婦歯科 健康診査	40.6%	H27 妊婦歯科健康診査	34.0%

推移を見守る指標

すべてのライフステージにおける指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
毎年定期的に歯科健診を受ける人の割合	40歳代		36.9%	H23 市民の健康 アンケート	31.9%	H27 40歳歯周疾患検診	65%
	50歳代		37.2%	H23 市民の健康 アンケート	36.1%	H27 歯周疾患検診	
フッ化物洗口を実施する施設数			247施設 13,016人	H24 こども家庭局 教育委員会 調査	277施設 14,430人	H27 こども家庭局 教育委員会 調査	—
咀嚼良好者(一口30回以上よくかむ)	18歳以上		22.0%	H23 市民の健康 アンケート	25.9%	H26 食育に関するア ンケート	80% (60歳代)
たばこと歯周病の関係について知っている人の割合			28.9%	H23 市民の健康 アンケート	—	—	—
ライフステージごとの指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
妊娠期	妊婦歯科健康診査の受診率	妊婦	31.2%	H24 妊婦歯科 健康診査	33.9%	H27 妊婦歯科健 康診査	—
乳幼児期	むし歯を持つ人の割合	3歳児	15.7%	H24 3歳児健康 診査	14.4%	H27 3歳児健康診 査	10%
乳幼児・青少年期	不正咬合のある者	3歳児	22.6%	H24 3歳児健康 診査	23.4%	H27 3歳児健康診 査	10%
青少年期	むし歯を持つ人の割合	6歳児	43.9%	H24 学校保健統 計	41.0%	H27 学校保健統計 (速報値)	—
		12歳児	36.8%	H24 学校保健統 計	29.0%	H27 学校保健統計 (速報値)	35%
	1人平均むし歯数	12歳児	0.83本	H24 学校保健統 計	0.64本	H27 学校保健統計 (速報値)	1本
	歯肉に異常がある人の割合	中3	19.3%	H24 学校保健統 計	20.0%	H27 学校保健統計 (速報値)	20%
高3		35.2%	H24 学校保健統 計	28.8%	H27 学校保健統計 (速報値)		
若者・壮年期	未処置を有する人	40歳	45.2%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	43.5%	H27 40歳歯周疾患検診	10%
	喪失歯のない人	40歳	88.8%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	—	—	75%
	24歯以上自分の歯を有する人	60歳	57.2% (55-64歳)	H23 市民1万人 アンケート	—	—	70%
高齢期	20本以上の自分の歯を有する人	80歳	37.6% (75歳以上)	H23 市民1万人 アンケート	—	—	50%
定期的に歯科健診、歯科医療を受けることが困難な者における指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
障害者	障害者入所施設での定期的な歯科健診実施率		66.7%	H23 県の調査	—	—	90%
要介護高齢者	高齢者入所施設での定期的な歯科健診実施率		32.3%	H23 県の調査	—	—	50%

市内での取り組み

東灘区

(1) 平成 27 年度の実績

◆歯の健康フェア(8020表彰式、イベント) (6月1日)

御影クラッセ1階広場にて、8020表彰式、イベントを開催しました。

◆ふれあいフェスタでの歯科保健啓発 (11月3日)

住吉公園にて、ふれあいフェスタが開催され、その中で歯科保健の啓発を行いました。

◆区民健康講座での講話

◆子育てひろば出前健康講座での講話

◆ふれあい給食会・ふれあいサロンでの講話

◆東灘区ケアマネジャー研修会での講話

◆大学生無料歯科健診

東灘区歯科医師会が灘区歯科医師会と協働で、大学生無料歯科健診を実施しました。4月～6月に、区内の大学生を対象に無料で歯科健診を行い、約60名の大学生が受診しました。

(2) 平成 28 年度の取り組み

◆歯の健康フェア(8020表彰式、イベント) (6月7日)

御影クラッセ1階広場にて、8020表彰式、イベントを開催しました。

◆ふれあいフェスタでの歯科保健啓発 (11月3日)

住吉公園にて、ふれあいフェスタが開催され、その中で歯科保健の啓発を行いました。

◆区民健康講座での講話

◆子育てひろば出前健康講座での講話

◆ふれあい給食会・ふれあいサロンでの講話

◆東灘区ケアマネジャー研修会での講話

◆大学生無料歯科健診

東灘区歯科医師会が、灘区歯科医師会と協働で、大学生無料歯科健診を実施しました。4月～6月に区内の大学生を対象に無料で歯科健診を行い、62名の大学生が受診しました。

灘区

(1) 平成 27 年度の実績

◆歯の健康の啓発・相談

- ・子育てフェスタ☆なだ(10月24日)六甲道南公園、約2,300人参加
お口のなんでも相談・おさかな釣り(公園内歯科ブース)
- ・なだ桜まつり(4月4日)都賀川公園 約15,000人参加
健康・葉・歯の個別相談、啓発(灘区民ホール)

- ・灘ふれあい秋まつり（10月10日）都賀川公園、約12,000人参加
健康・葉・歯の個別相談、啓発、（灘区民ホール）

◆歯科相談

- ・歯科医師会子育て相談会（偶数月指定の木曜）、（6回/年）

◆灘区歯科医師会マップの配付

- ・母子健康手帳交付時、1歳6か月児・3歳児歯科健診時に配付 約3,500人/年
- ・さくら塾（多職種連携勉強会）にて配付（7月11日、2月20日）

◆その他の取り組み

- ・高齢者への口腔ケア講話（11月10日）鶴甲地域福祉センター 12人参加
- ・介護者の会（区社協主催）（7月8日、11月4日、2月10日）相談、意見交換
- ・大学生の無料歯科健診（4～7月）、全8校、灘区・東灘区歯科医師会で合同実施
- ・認可外保育園での歯科健診（4園）
- ・講話と歯科相談
のびやかスペースあーち（神戸大学大学院サテライト施設）（6回/年）
まつぼっくり（神戸松蔭女子学院大学親子フリースペース）（6回/年）
- ・頑張りすぎない介護を応援する講演会（3月12日）、六甲道勤労市民センター
個別相談、啓発

（2）平成28年度の取り組み

引き続き、区と灘区歯科医師会などで連携して、各種事業を継続中。

経常事業以外の実施済み分は以下のとおり。

◆歯の健康の啓発・相談

- ・子育てフェスタ☆なだ（10月22日）六甲道南公園、個別相談、催し、約2,000人参加
- ・なだ桜まつり（4月2日）都賀川公園、個別相談、啓発（灘区民ホール）約15,000人参加
- ・灘ふれあい秋まつり（10月8日）都賀川公園、個別相談、啓発（灘区民ホール）
約12,000人参加

◆灘区歯科医師会マップの配付

- ・さくら塾（多職種連携勉強会）にて配付（5月21日、10月15日）

◆その他の取り組み

- ・介護者の会（介護者応援プロジェクト）（8月3日、11月9日、1月11日予定、3月8日予定）、相談、意見交換
- ・大学生の無料歯科健診（4～7月）、全12校、灘区・東灘区・中央区歯科医師会で合同実施
- ・認可外保育園での歯科健診（3園）
- ・講話と歯科相談（のびやかスペースあーち、まつぼっくり）
- ・頑張りすぎない介護を応援する講演会（3月11日予定）、六甲道勤労市民センター

個別相談、啓発

- ・なだパパマママップ（2016年版）に歯科医院30ヶ所掲載。（1歳6か月・3歳児健診出務歯科クリニック）

中央区

（1）平成27年度の実績

◆げんきッズまつり（10月30日）291人参加

勤労会館8階（体育館）にて、区内の子育てに関連する施設、機関が集まって、子育て支援情報や施設情報の提供を行い、こどもの遊びの機会の提供を行いました。中央区歯科医師会、歯科衛生士会による相談と虫歯予防啓発パネルシアターを実施しました。

◆いい歯の日フェア（11月8日）481人参加

中央区歯科医師会主催の「いい歯の日フェア」に参加。神戸ハーバーランドデュオこうべにて、無料歯科相談、口臭テスト、歯磨き相談、細菌数測定、フッ化物洗口体験、エプロンシアターなどを実施しました。

◆中央区歯科医師会とあんしんすこやかセンターとの連絡会 22人参加（9月17日）

保健・医療・福祉の関係機関・団体が役割や地域の連携協力体制の整備及びその運用について検討し、密接な連携を図りながら地域ケアを推進することを目的とした連絡会を開催しました。

◆区歯科医師会主催事業

開催日	内 容	参加人数
1月21日	区歯科医師会とケアマネジャーとの交流会	29人
2月18日	区地域包括支援センター介護職員口腔ケア研修会	21人
	給食サービス実施時の口腔ケアの実施 16回実施	536人

（2）平成28年度の取り組み

◆ハートフルフェスタ（9月4日）1,905人参加

中央区歯科医師会が健康講演会「健口は健康長寿の基本」を実施し、歯科保健啓発を行いました。

◆げんきッズまつり（10月28日）189人参加

勤労会館8階（体育館）にて、区内の子育てに関連する施設、機関が集まって、子育て支援情報や施設情報の提供を行い、こどもの遊びの機会の提供を行いました。中央区歯科医師会、歯科衛生士会による相談と虫歯予防啓発パネルシアターを実施しました。

◆いい歯の日フェア（11月6日）デュオ神戸にて開催。383人参加

歯磨き相談、口臭テスト、細菌数測定、フッ化物洗口体験、エプロンシアターなど実施しました。

◆中央区歯科医師会とあんしんすこやかセンターとの連絡会（10月27日）20人参加

保健・医療・福祉の関係機関・団体が役割や地域の連携協力体制の整備及びその運用について検討し、密接な連携を図りながら地域ケアを推進することを目的とした連絡会を開催しました。

◆大学生無料健診 **新規**

平成28年度より中央区歯科医師会において、大学生無料歯科健診を実施しました。4月から7月に20名の大学生が受診しました。（東灘区歯科医師会、灘区歯科医師会と合同で実施。）

◆歯科医院マップの配布

中央区歯科医師会が作成した同マップを母子健康手帳に挿んで配布を始めました。

◆区歯科医師会主催事業

開催日	内 容
1月予定	区歯科医師会とケアマネジャーとの交流会
2月予定	区地域包括支援センター介護職員口腔ケア研修会
	給食サービス実施時の口腔ケアの実施 17回実施

兵 庫 区

(1) 平成27年度の実績

歯科に関する健康情報を区民に身近に提供できるよう、兵庫区歯科医師会が地域に根付いた歯科保健活動を行いました。

◆ふれあい兵庫 福祉健康フェア・区民健康のつどい

兵庫区社会福祉協議会・兵庫区主催の湊川公園でのフェアにおいて、区歯科医師会のブースを設け、歯科健康診査、歯科相談、むし歯リスクテストを行いました。また、同日、隣接の公会堂において、区四師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会）主催「区民健康のつどい」（テーマ：「認知症」）を開催しました。

◆地域ケアネットワーク定例会

介護・医療者関係者を対象とした研修会で、毎年6月4日～10日の「歯と口の健康週間」の前後に、歯科をテーマにした定例会を開催しています。平成27年度は「病院・地域との連携・支援～入院前後の口腔管理～」をテーマに、医療・介護事業者95人が参加しました。

◆兵庫区歯科医師会「歯科健康講座」

地域福祉センター等で開催するひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい給食」において歯科ミニ講話をしました（年間5回、約260人参加）。

(2) 平成28年度の取り組み

歯科に関する健康情報を区民に身近に提供できるよう、兵庫区歯科医師会が地域に根付いた歯科保健活動を行いました。

◆ふれあい兵庫 福祉健康フェア・区民健康のつどい

兵庫区社会福祉協議会・兵庫区主催の湊川公園でのフェアにおいて、区歯科医師会のブースを設け、歯科健康診査、歯科相談、むし歯リスクテストを行いました。また、同日、隣接の公会堂において、区四師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会）主催「区民健康のつどい」において講演会（テーマ：「小児歯科医からのメッセージ」ほか）を、子ども向け体験コーナー（「お医者さんと歯科医さんのお仕事体験」ほか）を開催しました。

◆兵庫区歯科医師会「歯科健康講座」

地域福祉センター等で開催するひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい給食」や地域の親子を対象とした「子育てサロン」において歯科ミニ講話を実施しました。

- ・「ふれあい給食」（年間6回、約340人参加）。
- ・「子育てサロン」（年間4回、約50組参加）

北 区

南北に長い北区の地域の特性に応じて、北区歯科医師会が、地域に密着した歯科からの健康づくりを発信しています。

（1）平成27年度の実績

◆「いい歯の日」歯の健康フェア（11月3日）

コアキタマチショッピングセンター1階セントラルコートにて歯の健康フェアを開催しました。歯科相談、矯正相談、スライド、口腔ケア講習、健口体操、フッ化物洗口体験のほか、子ども達に向けた紙人形劇、歯医者さん体験などを通して、口腔ケア・歯の大切さをたくさんの方に知って頂きました（参加者170名）。



◆高齢者口腔ケア講演会

高齢者向けの口腔ケア講演会やふれあい給食会への出前トーク、また介助者向けの講演会を無料で実施しており、27年度は高齢者向けの口腔ケア講演会及び介助者向けの講演会を5回実施しました。主なものは次のとおりです。

- 介助者（施設職員等）向け実習付き口腔ケア講演会（2月4日）しあわせの村研修館
- 北区歯科医師会と神戸市ケアマネジャー連絡会北区部署との交流会（11月14日）
- 介護予防キャンペーン（11月3日）神戸北町コープデイズにて、いい歯の日フェアと共同開催 口腔ケアの講演と健口体操実演。介護相談20名。北区本区あんしんすこやかセンター連絡会と共催
- 高齢者向け口腔ケア講演会（給食会出前トーク 2回開催）
- 北区地域包括ケア推進総括協議会 口腔ケア講演（10月31日）恒生病院 「お口の健康と認知症予防」医療関係者、ケアマネジャー、地域住民60名が参加

◆大学生のための歯の健康チェック

12月4日に神戸親和女子大学にて大学生向けのフェアを開催しました。歯科相談、矯正相談、歯磨き指導、プレスチェック、歯の色診断等、大学生にも歯の健康について興味を持って頂けるような内容で行いました。(参加者31名)

(2) 平成28年度の取り組み

◆「いい歯の日」歯の健康フェア(11月3日)

コアキタマチショッピングセンター1階セントラルコートにて歯の健康フェアを開催しました。歯の健康相談、歯並び相談、フッ化物洗口体験、歯医者さんに変身コーナー、子供達むけの紙人形等を行い多くの親子連れで賑わいました。(参加者299名)



◆高齢者口腔ケア講演会

高齢者の方を対象に、口腔ケアの重要性、健口体操、義歯の取り扱いなどについての講演会や講話を、地域のご希望にあわせ開催します。今年度も引き続き、無料で実施しており、主なものは次のとおりです。

- 介助者(施設職員等)向け実習付き口腔ケア講演会(2月20日)

北神区民センター会議室

- 北区歯科医師会と神戸市ケアマネジャー連絡会北区部署との交流会(6月18日)

歯科医師、ケアマネジャー60名参加

- ケアマネジャー向け口腔ケア講演会(2回開催)

- 介護予防キャンペーン(11月3日)いい歯の日共同開催

健口体操 介護相談コーナー設置

- 北区地域包括ケア推進総括協議会 総会

「地域包括ケアに関わる歯科医師会の活動」発表参加者300名

- 北区在宅医療・介護連携支援センター主催セミナーにて講演(11月5日)

すずらんホール「口腔ケアで生き生き在宅生活」参加者 地域高齢者125名

- 北神在宅医療・介護連携支援センター主催 包括ケア啓発のための寸劇「裕次郎さんの終活」出演発表(11月12日)北神区民センター有馬ホール 来場者500名超

◆大学生のための歯の健康チェック(12月2日)

神戸親和女子大学にて歯の健康フェアを開催しました。歯科相談、矯正相談、歯磨き指導、プレスチェック、歯の色診断ホワイトニング相談などを行い昨年度より多くの女子大生の参加がありました。(参加者47名)



◆北区健康講座(12月10日)

北区民センターすずらんホールで開催された北区健康講座で、あいうべ体操、兵庫医科大学歯科口腔外科主任教授の講演を行いました。

長 田 区

(1) 平成 27 年度の実績

長田区では、乳幼児健診のむし歯有病率が高く、妊婦歯科健診の受診率は最も低くなっています。その状況の改善のため、長田区歯科医師会をはじめ、神戸常盤大学、県立総合衛生学院などの区内の歯科保健関係機関と協働にて、むし歯予防の取り組みを行いました。

また、成老人を対象に、歯と口の健康や介護予防の意識啓発等に取り組みました。

◆長田区子どものむし歯予防のための検討会議

関係機関との中長期的な計画の策定を行いました。

第 1 回 平成 27 年 9 月 2 日(水)、第 2 回 平成 28 年 2 月 29 日(月)

◆未処置率の低下、むし歯予防のための活動

保育所(園) 1~5 歳児クラスのむし歯未処置の保護者を対象に、治療勧奨をしました。

歯科健診で未処置歯がある人 286 人のうち、受診確認率 48.6% (平成 27 年 12 月現在)。

◆各関係機関による歯磨き指導を通じた、むし歯予防啓発

・学校、保育所、保育園、児童館などでの健康教育を行いました。(実施か所数/全体数)

- ・子育てサークル：9/18
- ・児童館：9/10
- ・保育所：10/10
- ・保育園：9/11
- ・幼稚園：5/9
- ・小学校：11/14

・3 か所の幼稚園にて、むし歯予防教室を実施しました(園児 112 人、保護者 82 人参加)。

年長児クラスの園児とその保護者を対象に「歯垢染色を用いた仕上げ磨き指導」を実施し、歯ブラシ(子供用・仕上げ磨き用)と歯みがきカレンダーを 3 か月分渡し、歯みがき習慣の確立を促しました。

・子どもを対象としたむし歯予防啓発イベントを実施しました。

- ・ながたっ子祭 平成 27 年 10 月 11 日 200 人参加
- ・カンガルーフェスタ 平成 27 年 12 月 4 日 369 人参加
- ・ひと・まち出会いフェスティバル 平成 28 年 2 月 15 日 100 人参加

◆まちづくり会議にこやか部会により「健口のすすめ」をテーマに講演会を開催(平成 27 年 11 月 2 日) 参加者 42 人。

◆三師会医療フォーラム平成 27 年 10 月 29 日) 参加者 134 人

「肺炎」をテーマに開催。長田区歯科医師会の先生を講師に、肺炎予防と歯科の役割について啓発を行いました。

◆長田区災害医療フォーラム(平成 28 年 2 月 6 日) 参加者 113 人

阪神・淡路大震災、そして東日本大震災の支援を通じて、「過去の災害から学ぶこと、そして備えること」として、被災後の避難所での口腔ケアの大切さを啓発しました。

◆専門職による多職種連携のための「認知症ライフサポート研修」

長田区医師会・長田区歯科医師会・長田区薬剤師会や区内の認知症支援に携わる専門職とともに開催しました(平成 27 年 9 月 3 日)。

◆「脳のすこやか健康手帳」「認知症ケアネット（長田区版）」の配布

認知症予防につながる口腔機能維持向上に関する内容を盛り込んだ、認知症予防や早期発見及び認知症患者の在宅生活を支援するための冊子を認知症専門医や三師会はじめ地域の様々な支援関係機関や認知症の人と家族の会の方等と協力して作成しました。

(2) 平成 28 年度の取り組み

① 平成 28 年度 ハッピーむし歯予防事業計画

◆長田区子どものむし歯予防のための検討会議

関係機関と計画の見直しを行います。

第 1 回 平成 28 年 9 月 14 日(水)、第 2 回 平成 29 年 2 月頃

◆未処置率の低下、むし歯予防のための活動

・保育所（園）にて、むし歯の未処置者に受診勧奨します。

◆各関係機関による歯磨き指導を通じた、むし歯予防啓発

・幼稚園に在園する保護者へのむし歯予防啓発を行います。

・子育て支援サークルでのむし歯予防啓発を行います。

・学校、保育所、保育園、児童館などでの健康教育を行います。

◆子どもを対象としたむし歯予防啓発イベント

・カンガルーフェスタ 12 月 9 日、ながたっこ祭 10 月 9 日、
人、街、出会いフェスティバル

◆妊婦のむし歯予防の啓発 **新規**

・妊婦歯科健診の PR 強化として、妊娠週数 15 週～20 週で電話にて受診勧奨を行います。

② 成人を対象とした歯とお口の健康や介護予防の意識啓発等をめざして講演会等を実施

◆まちづくり会議長田区健口講座（平成 28 年 10 月 1 日）参加者 44 人

「口腔ケアと認知症の関係」をテーマに医療・介護従事者などの多職種連携の研修会を開催しました。

◆三師会医療フォーラム開催（平成 28 年 10 月 13 日）参加者 127 人

「骨粗しょう症」をテーマに開催。骨粗鬆症患者の顎骨壊死について、三菱神戸病院の藤田先生より詳しくご説明いただきました。

◆まちの文化祭の参加（平成 28 年 11 月 13 日）

長田区内の各種団体が参加して神戸市地域人材センターで行われた「まちの文化祭」に長田区歯科医師会が参加して、来場者の無料歯科検診を実施しました。

◆災害医療フォーラム in 長田（平成 29 年 2 月 4 日開催予定）

熊本地震の支援における医療活動報告、区民の防災や発災時の備えに関する意識啓発に三師会・区・地域の関係者とともに取り組む予定です。



脳のすこやか手帳

◆「認知症ライフサポート研修」(平成28年10月5日)

専門職による多職種連携のための研修を、長田区医師会・長田区歯科医師会・長田区薬剤師会や区内の認知症支援に携わる専門職とともに開催しました。

◆「脳のすこやか健康手帳」の配布

「脳のすこやか健康手帳」を認知症予防の取り組みが必要な方等、希望される方へ、区内の医療機関、歯科医院、薬局等地域の支援関係機関を通じて配布中です。

◆認知症ケアネット(認知症支援の情報冊子)の配布

認知症の相談窓口や認知症予防、健康づくり事業、保健福祉サービス等を盛り込んだ認知症の方を支援する地域情報冊子を長田区三師会はじめ地域の関係機関と作成し、医療機関・歯科医院・薬局・あんしんすこやかセンター等に配布している。

須磨区

須磨区歯科医師会が歯科保健についての啓発活動を実施しています。

(1) 平成27年度の実績

◆須磨区医療フォーラム(平成27年5月24日) 参加者 323人

「よくわかる認知症」をテーマに歯科医師会から「高齢社会における歯科医師の取り組み」として、認知症にならないための歯科医師からの観点から予防そして発症後の歯科医療の取り組みについて講演しました。

◆歯の健康フェスタ

平成27年6月に須磨水族園にてイルカの「おくち健康チェック」など、イベント「生きることは食べること」を開催し、「歯にまつわる命の不思議展」を同時開催するなど、歯の大切さの啓発を行いました。

◆口腔ケアの研修会

地域団体のご要望により、歯科医師会が歯科保健についての啓発活動を実施しています。介護予防教室やふれあい給食会など前年度実施できなかった施設などを中心に歯科保健に関する研修会を実施しました。(5か所)。

◆認知症ケアネットの配布

認知症の方やご家族・支援者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、区が作成しました。認知症の進行に応じてどのような医療・介護サービスを受ければよいかという一覧表及び認知症に関する様々な情報を掲載しています。相談に来られた方やご家族・支援者及び区内の医療機関、歯科医院、薬局等地域の関係機関にあんしんすこやかセンターから配布中です。(平成27年3月作成)

(2) 平成28年度の取り組み

◆須磨区医療フォーラム(平成28年5月29日) 参加者 288人

「よくわかる腰痛」をテーマに、歯科医師会から「腰痛」と「噛み合わせ」の関係につ

いて講演しました。

◆歯の健康フェスタ

歯と口の健康週間（4～10日）に合わせて、6月5日に須磨海浜水族園において、「生きることは食べること」と題して、イルカの歯科検診、歯に関するクイズなどのスタンプラリーを行いました。

このイベントを通じて、毎日の歯の手入れや定期的な歯科検診の受診などの歯のケアについて説明を行い、歯を健康に保つことの大切さをPRしました。

◆口腔ケアの研修会

歯科医師会が歯科保健についての啓発活動の一環として、高齢者・障害者施設や地域団体等のご要望で歯科保健に関する研修会を実施します。

◆事業者対象の講演会

通所介護事業者の利用者を対象とした講演および、訪問介護事業者連絡会での講演を実施します。

垂水区

（1）平成27年度の実績

垂水区歯科医師会が区役所と協働して、歯科口腔保健の啓発を行いました。

◆たるみ健康セミナー

開催日	演 題	参加人数
11月 19日	インプラントの光と影	34人
11月 26日	これでバッチリ歯周病対策	38人

区歯科医師会の講師が、歯の健康について講演を行いました。

◆めざせ8020！たるみいい歯まつり 平成27年10月18日（日）

歯の健康の大切さを知ってもらうために「たるみ生き活き保健福祉フェア」の一環として「たるみいい歯まつり」を開催し、歯科医師会による無料歯科相談・矯正相談、口腔ケアグッズの紹介、歯・口の健康に関係する図画・ポスターの展示などを実施しました。平成26年度に引き続き、小学生以下の子どもを対象に、歯医者さんを体験するイベントを実施し、並行して歯ブラシ釣りゲームも行いました。また、外傷時に役立つ歯牙保存液を、歯科医師会から区内のすべての小学校へ贈呈しました。

（2）平成28年度の取り組み

歯科医師会と協働して、歯科口腔保健の啓発を継続実施しています。

◆たるみ健康セミナー

開催日	演 題	参加人数
11月 24日	歯周病は万病の元	30人

区歯科医師会の講師が、歯の健康について講演を行いました。

◆めざせ8020!たるみいい歯まつり 平成28年10月16日(日)

・口から始まる健康づくり

歯科相談・要介護者の口腔ケアグッズの展示、歯・口の健康に関する図画・ポスターの展示、子どもの歯医者さん、歯ブラシ釣りゲーム、口腔ケアQ&Aなどを実施

西 区

(1) 平成27年度の実績

西区歯科医師会が広く区民対象に歯科保健の啓発を行うとともに、高齢者を対象とした出張講演会を開催しました。

◆西区健康・福祉フェア 平成27年10月3日(土)

西区社会福祉協議会・西区主催の「西区健康・福祉フェア」において、区歯科医師会の健康相談会で歯科相談等を含め啓発活動を行いました。

歯科相談(32人)、咀嚼力テスト(412人)、ブラッシング啓発(1,100人)

◆給食サービス実施時の口腔ケア出張講演会

地域での交流を主な目的として、ひとりぐらしの高齢者を対象に、地域の自治会・婦人会・ボランティアが実施する「ふれあい給食会」に出向き、口腔ケアに関する講演会を行いました。区内11か所 450人



西区健康・福祉フェア



給食サービスでの口腔ケア出張講演会

(2) 平成28年度の取り組み

◆西区健康・福祉フェア 平成28年10月1日(土)

西区社会福祉協議会・西区主催の「西区健康・福祉フェア」において、区歯科医師会の健康相談会で歯科相談等を含め啓発活動を行いました。

◆給食サービス実施時の口腔ケア出張講演会

地域での交流を主な目的として、ひとりぐらしの高齢者を対象に、地域の自治会・婦人会・ボランティアが実施する「ふれあい給食会」に出向き、口腔ケアに関する講演会を行います。区内12か所 290人(予定)

全市的な取り組み

○ 公益社団法人 神戸市歯科医師会では、以下の事業に取り組んでいます。

(1) 平成 27 年度の実績

新規

◆神戸市歯周疾患検診(40歳・50歳)・妊婦歯科健診・後期高齢者(75歳)歯科健診

40歳:1,632件、50歳:728件、妊婦:4,312件、75歳:1,178件

◆第12回こうべ食育フェア 6月13日(土)

デュオドーム、採光ドーム(JR神戸駅前地下街)、参加者数:251人

◆第5回「こうべ いい歯の講演会」 10月3日(土)

演題:これでバッチリ!歯周病対策、神戸市勤労会館

受講者数:45人

◆第26回こうべ福祉・健康フェア 10月4日(日)

しあわせの村 体育館、受付総数:535人

◆いきいきシニアライフフェア 2015 11月7日(土)

デュオドーム、採光ドーム(JR神戸駅前地下街)

参加者数:221名

◆神戸市内の保育所(園)、幼稚園、認定こども園におけるフッ化物洗口事業

公立保育所:2,441人、民間保育園:2,299人、幼保連携型(認定こども園):2,299人

市立幼稚園:2,495人、私立幼稚園:1,438人、幼稚園型(認定こども園):868人



いきいきシニアライフフェア 2015

(2) 平成 28 年度の取り組み

◆神戸市歯周疾患検診(40歳・50歳)・妊婦歯科健診・

後期高齢者(75歳)歯科健診

◆第13回こうべ食育フェア 6月18日(土)

デュオドーム、採光ドーム(JR神戸駅前地下街)

参加者数:185人

◆第27回こうべ福祉・健康フェア 10月9日(日)

しあわせの村 体育館、受付総数:538人

◆いきいきシニアライフフェア 10月22日(土)

スペースシアター(神戸ハーバーランドセンタービル)

参加者数:120名

◆神戸市内の保育所(園)、幼稚園、認定こども園におけるフッ化物洗口事業

◆G7神戸保健大臣会合開催記念「ひょうごKOBEM医療健康フェア」での歯科保健啓発

9月8日(木)~11日(日) 神戸国際展示場3号館



いきいきシニアライフフェア 2016



ひょうごKOBEM医療健康フェア

- 公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会では、以下の事業に取り組んでいます。

(1) 平成 27 年度の実績

◆「歯と口の健康ランド」 自分で守ろう、私の歯

日時：平成 27 年 6 月 7 日（日）11：00～15：00

場所：神戸市立王子動物園 動物園ホール

対象者：王子動物園来園者（低年齢児の親子）

入場者数：403 人（大人 214 人、子ども 189 人）

事業内容：歯科健診・歯科相談・口腔衛生指導・フッ化物体験・唾液リスクテスト（RD テスト・CAT）・歯科衛生士になってみよう（写真撮影）・ゲームコーナー・腹話術パフォーマンス・展示とスライドによる啓発

◆障害者（児）施設への歯科保健指導

平成 27 年 10 月～11 月 6 施設 7 回実施 対象者数 168 人

こうべ市歯科センターより依頼 20 回実施

◆幼稚園、小中学校への歯科保健指導

神戸市歯科医師会より依頼 27 回実施

◆他職種、および市民の方々への歯科保健指導 2 回実施

(2) 平成 28 年度の取り組み

◆「歯と口の健康ランド」

日時：平成 28 年 6 月 5 日（日）11：00～15：00

場所：神戸市立王子動物園 動物園ホール

対象者：王子動物園来園者（低年齢児の親子）

入場者数：277 人（大人 134 人、子ども 143 人）

事業内容：歯科健診・歯科相談・口腔衛生指導・フッ化物塗布・フッ化物洗口体験・唾液リスクテスト（RD テスト・CAT）・歯科衛生士になってみよう（写真撮影）・ゲームコーナー・腹話術パフォーマンス・展示・スライド・紙芝居による啓発

◆障害者（児）施設での歯科保健指導

平成 28 年 10 月～11 月 6 施設 7 回実施

対象者数 242 人（予定）

◆幼稚園、小中学校での歯科保健指導

神戸市歯科医師会より依頼 28 回実施中

◆他職種、および市民の方々への歯科保健指導 2 回実施

◆高齢者施設での口腔ケア など



歯っぴいスマイルフェスティバルちらし



歯と口の健康ランド